

## 奨励賞



設計担当者

# 奥野 崇

愛媛県建築士会、奥野崇建築設計事務所

寺院・仏閣(宗教施設) | 愛媛県今治市玉川町畑寺

## 真言宗光林寺 位牌堂

構造 | 鉄骨造

階数 | 地上5階

敷地面積 | 1,009.25㎡

建築面積 | 118.07㎡

延べ面積 | 396.36㎡

竣工 | 平成29年8月24日



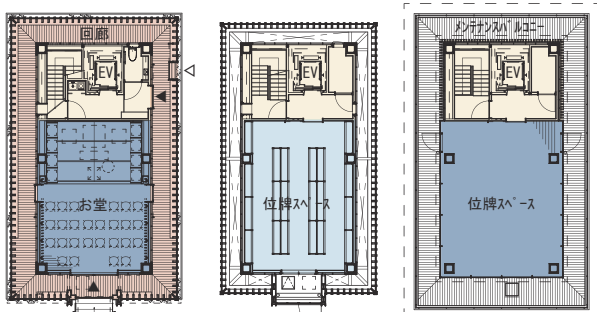
1



2



3



1階  
平面図

2~4階

5階

- 1 5階位牌スペース
  - 2 1階回廊とお堂
  - 3 本堂越しに位牌堂を見る
- 写真...小川重雄

## 選評

建物は四国今治市の山中に建つ、1316年の歴史を持つ真言宗光林寺の位牌堂である。

山門を通過し城壁のように積まれた石垣を上がると正面に本堂があり、西側に18mの高さを持つ位牌堂が建っている。地方を中心に集落の高齢化や過疎化の中で檀家制度が揺らいでいる。今後の寺のあり方を決める永代供養墓の現代版である。山中に建つ寺院に塔のような高さが必要だったのかを確かめたかった。

1階は阿弥陀三尊がまつられ、お堂としての役割を果たしている。2階から4階は位牌を安置する場、5階に上ると視界が開け、四方の山並みが展望できる。この風景を切り取りたかったのだと住職から聞くと、すべてが納得できた。空海上人が密教の修行をした霊山である檜原

山が望める場の高さが必要であった。

空中に浮かんだ御堂は床と天井が平行に納められ内外が一体となった一室空間で無駄なものがなく、自然界のなかで仏像と対面できる場を用意されていた。その空間をつくり上げた点を高く評価した。

構造は鉄骨造で5階の場を持ち上げる形態とするため、下層部に袴をはかせて台形の座をつくり込んでいる。鉄骨造の本体から持ち出した耐風梁に60mm×180mmの檜材を303mmピッチで500本を架け渡して袴腰を構成する手法が空間を引き締めている。

住職の構想がそのまま実現した建築であり、建築が持つ場の力を読み解ける秀逸な建築である。

(竹原義二)